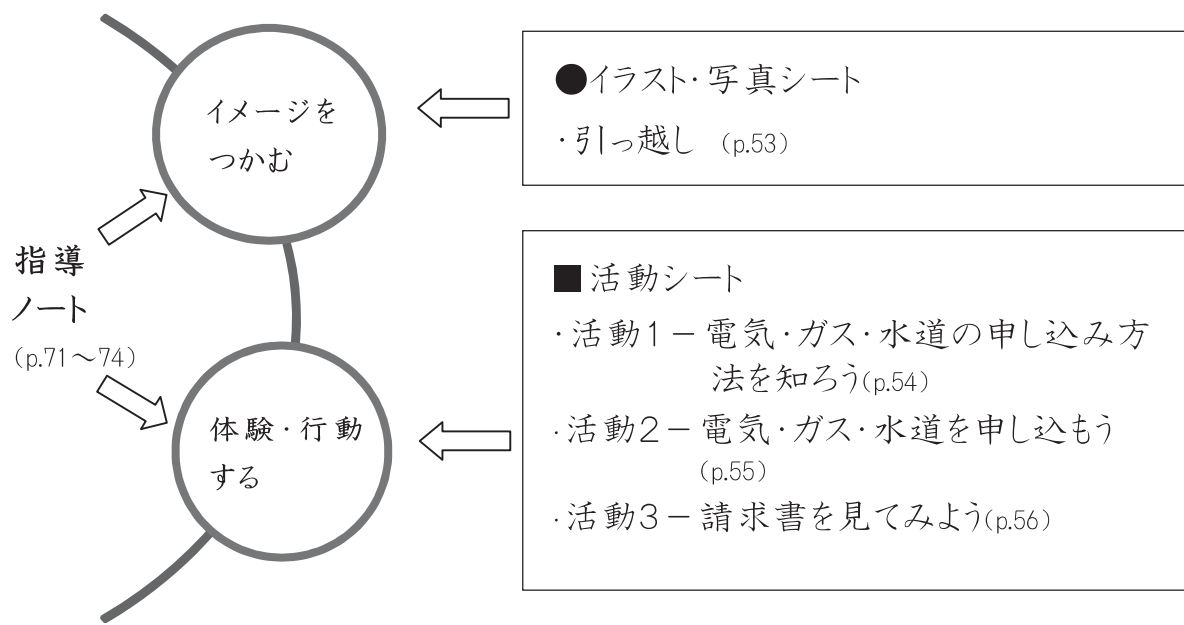


(07) 住居を^{じゅうきょ}管理^{かんり}する

内 容



取り上げる生活上の行為の事例

- (0701010)「電気・水道・ガス等の開始手続きについて理解する」
- (0701040)「電気・水道・ガス等の使用開始について、地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する」
- (0701090)「電気・水道・ガス等の申し込みをする」
- (0703030)「電気・水道・ガスの請求書を理解する」

教室活動の目標

- ・電気・水道・ガスの開始手続きについて理解する
- ・電気・水道・ガスの申し込みができる
- ・電気・水道・ガスの請求書を理解する

教室活動のねらい

- ・電気・水道・ガス等の使用開始について、地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する
- ・電話で開始に必要な事項を伝えて、申し込みをすることができる
- ・請求書兼領収書の見方を理解する

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (0701010)「電気・水道・ガス等の開始手続きについて理解する」
- (0701040)「電気・水道・ガス等の使用開始について、地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する」
- (0701090)「電気・水道・ガス等の申し込みをする」
- (0703030)「電気・水道・ガスの請求書を理解する」

教室活動の目標

- － 電気・水道・ガスの開始手続きについて理解する。(活動1, 2)
- － 電気・水道・ガスの申し込みができる。(活動2)
- － 電気・水道・ガスの請求書を理解する。(活動3)

教室活動のねらい

- － 電気・水道・ガス等の使用開始について、地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する。
 - － 電話で開始に必要な事項を伝えて、申し込みをすることができる。
 - － 請求書兼領収書の見方を理解する。
- ・ 生活をする上で、電気・ガス・水道は欠かすことができません。その手続き方法は、国によって異なります。海外での生活において、その国の手続きの仕組みを理解し、実際に手続きをするということは、不安に感じるものです。教室で疑似的に体験し、学習者が安心できるような活動をしてみましょう。

活動前に確認しておくこと

- － 学習者の居住地域の、電気・ガス・水道の申し込み方法

準備する素材

- －学習者の居住地域や引っ越し先の、電気・ガス・水道の申し込みに関する多言語情報
- －学習者の居住地域の、電気・ガス・水道の請求書兼領収書

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・引っ越し(p.53)

- ・「イラスト・写真シート」(P.53)の写真を見ながら、母国や日本での引っ越しの経験について話をしましょう。引っ越しのときの習慣や手続きについて、国や地域によって異なることでしょう。話の中で出てきた言葉(母語・日本語)をメモし、必要な語彙は日本語でどう言えばよいのか確認しましょう。

< 問いかけ例 >

- 「あなたは引っ越したことがありますか。」
- 「引っ越す前にやることは何ですか。」
- 「引っ越した後にやることは何ですか。」
- 「引っ越しに関して、あなたの国ではどんな習慣がありますか。」

体験・行動する

- 活動シート
- ・活動1－電気・水道・ガスの申し込み方法を知ろう(p.54)

- ・活動1「電気・水道・ガスの申し込み方法を知ろう」の(1)では、学習者が今住んでいる家にあるメーターがそれぞれ何のメーターか知っているかどうかを確認します。また、ことばも導入します。写真を見ながら、次のようなことを話してもいいでしょう。

＜ 問いかけ例 ＞

「あなたの家にこれ(メーターやブレーカー)がありますか。」

「何のメーターですか。」

「日本で新しい部屋に住む時, その部屋の電気・ガス・水道はどこに申し込みますか。いつ申し込みますか。」

「あなたの国ではどうですか。」

- ・ 活動1「電気・水道・ガスの申し込み方法を知ろう」の(2)では, 引っ越しの際の, 電気・ガス・水道の申し込み方法について知る活動です。いつ, どこに, 何を連絡するのかを, 一般的な多言語情報や学習者が居住する地域の多言語情報を利用して確認し, メモをしましょう。

多言語情報例

例1) 多言語生活情報((財)自治体国際化協会)

・中国語, 英語, 韓国語, スペイン語, ポルトガル語, タガログ語, ドイツ語, フランス語, ベトナム語, ロシア語, タイ語, インドネシア語

・<http://www.clair.or.jp/tagengorev/ja/index.html>

・電気・ガス・水道の申し込みについて, 一般的な手続きの流れが書かれている。

例2) 大阪市「エンジョイオオサカ」

・英語, 中国語, 韓国語・朝鮮語, スペイン語, ポルトガル語

・<http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000023766.html>

・申し込み方法のほか, 請求書の見方(活動3で参考に関連)についても書かれている。

例3) 横浜市「生活ガイド」

・<http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/koho/lifeguide/>

・横浜市の電気・ガス・水道の申し込みの方法が書かれている。

体験・行動する

■ 活動シート

・ 活動2－電気・ガス・水道を申し込もう(p.55)

- ・ 活動2「電気・ガス・水道の申し込み方法を知ろう」は, 電話で電気・ガス・水道の申し込みをする活動です。教材例では紙面の関係上, ガスのみを例にあげて

います。ガスは郵送での申し込みはできず、電話やネットで開栓を申し込みをした上で、開栓時に立会いが必要な地域が多く、学習者にとっては、一番複雑な手続きです。

- ・ 電気や水道は、地域によっては、電話以外に、新居においてある「使用開始のお知らせ」の紙に必要な事項を記入し、郵送するだけでよい地域もあります。学習者の日本語のレベルや希望に応じて、どちらで対応したいかを本人に聞いて教室活動を組み立てることもできるでしょう。郵送の場合は、ロールプレイではなく、実際に記入してみてください。

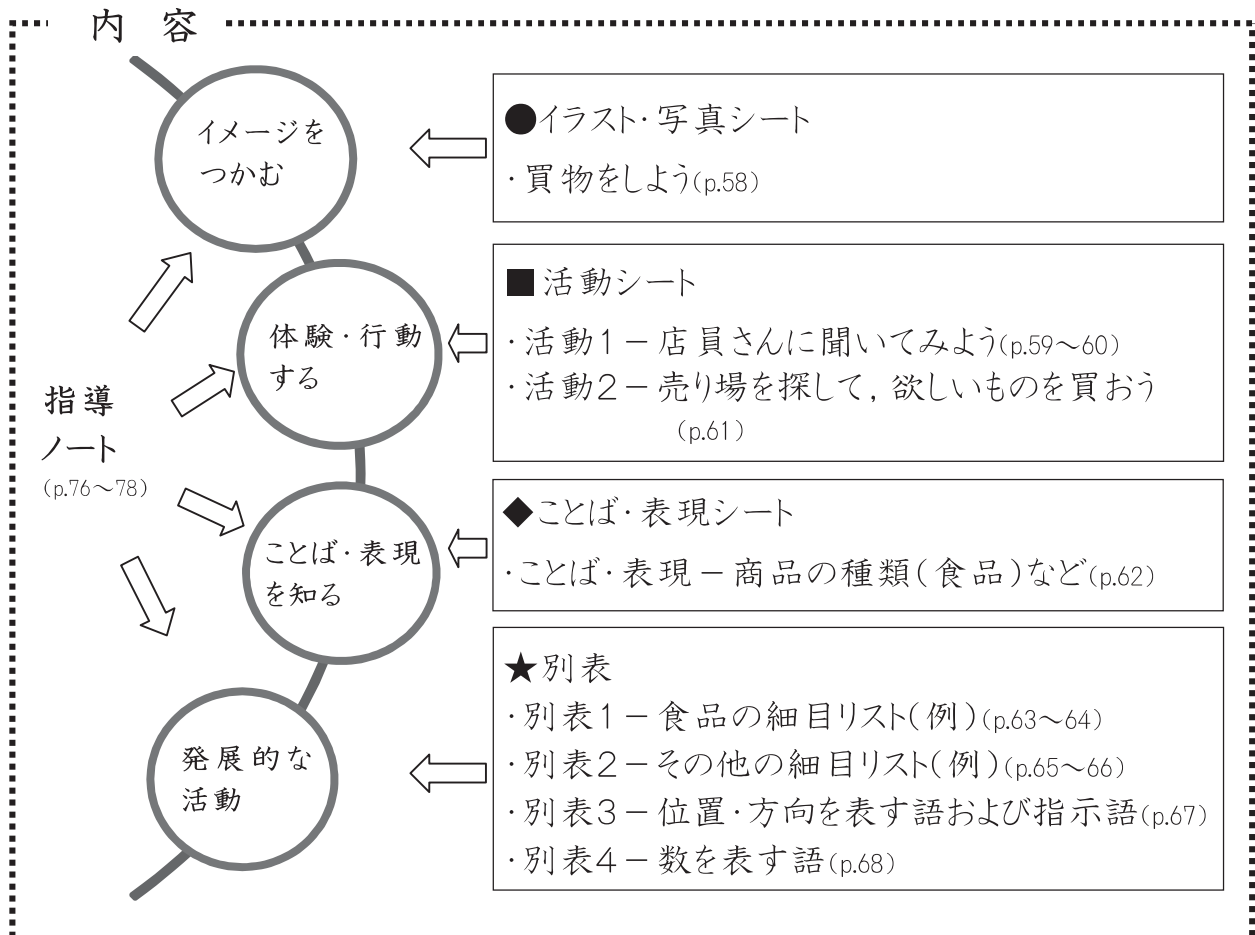
体験・行動する

■活動シート

・活動3－請求書を見てみよう(p.56)

- 活動3「請求書を見てみよう」は、検針票や請求書の見方を理解する活動です。水道を例にしましたが、電気やガスでも同じようにやってみましょう。地域によって、検針票、請求書の様式は異なりますので、学習者の地域のものを見て話しましょう。
- 電力会社、ガス会社、水道局の中には、検針票、請求書の見方に関する資料を多言語で準備しているところがあります。ホームページからダウンロードできる場合もあれば、窓口で配布している場合もあります。事前に問い合わせてみるといいでしょう。
- 電気やガスや水道を1か月にどれくらい使っているか、主に何に使っているのか、どのように節約をしているかなどについて話をふくらませてもおもしろいでしょう。

ぶっぴんこうにゅうさーびすりょう
(08) 物品購入・サービスを利用する



取り上げる生活上の行為の事例

- (0801060)「店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す」
(0801050)「デパート、スーパーマーケット、コンビニ、電器店、書店等で買物をする」
(0801080)「売り場を尋ねる」

教室活動の目標

- ・店内の表示を見たりして、店員に尋ねて欲しいものの場所を探す

教室活動のねらい

- ・買いたい物がどこにあるか聞くことができる
・商品名を言うことができる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0801060)「店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す」

(0801050)「デパート、スーパーマーケット、コンビニ、電器店、書店等で
買物をする」

(0801080)「売り場を尋ねる」

教室活動の目標

－店内の表示を見たりして、店員に尋ねて欲しいものの場所を探す。

教室活動のねらい

- －買いたい物がどこにあるか聞くことができる。(活動1, 2)
- －商品名を言うことができる。(活動1, 2)

- ・買物は、誰もが経験する行為の一つでしょう。学習者によってニーズや興味・関心は様々かもしれませんが、食料品など日常生活に不可欠な物品の購入は誰もが経験するはずです。あまり行き慣れていない商店に行ったり、買い慣れていない商品を買ったりする場合には、欲しいものが店内のどこにあるか、すぐに分からないことも多いのではないのでしょうか。ここでは、その探し方を練習してみましょう。

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・買物をしよう (p.58)

- ・最初にイラスト・写真「買物をしよう」(p.58)を学習者と一緒に見ながら、日本語または学習者の母語などで、以下のようなやり取りをしてみましょう。

< 例 >

「これは何ですか。ここで何をしますか。(地域の)どこにありますか。」

「よく買物をしますか。家族の中では誰が買物しますか。いつもどこで買物しますか。何を買いますか。高いですか、安いですか。」

「買物のとき、日本語を使いますか。また、店員の日本語はわかりますか。」

「買いたい物がお店の中のどこにあるか、すぐにわかりますか。売り場が分からないときは、どうしますか。」

「買いたい物がお店にないときは、どうしますか。」

- ・このようなやり取りを通じて、学習者が日常生活の中でどのような買物をしているか、また、その実際の場面で日本語をどの程度理解または使用しているかについて把握できるでしょう。学習者自身の買い物に関する知識が活性化されるだけでなく、指導者が今後の活動展開を考えていく上で、きっと役に立つはずです。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－店員さんに聞いてみよう(p.59～60)

- ・「活動1」の会話例(1)「牛乳はどこですか」や会話例(2)「すみません、みかんはありますか」を使ってキーフレーズを確認し、学習者の日本語レベルや地域の状況などに応じて適宜調整・工夫を加えた上で、ロールプレイを行います。
- ・会話ではキーフレーズに限らず、買物場面でよく使われる表現を取り上げてください。学習者の日本語レベルに合わせ、「これだけ言えれば、何とか必要なものを探ることができる」、「これが言えれば、スムーズに必要なものを探ることができる」、「これが言えれば、他の商品と比較等を行いながら必要なものを探す(選ぶ)ことができる」というように、取り上げる表現を工夫しましょう。
- ・学習者がよく耳にするけれども十分に理解できない表現などを取り扱ってもよいでしょう。必要に応じて、「別表3 位置・方向を表す語および指示語」(p.67)なども参照してください。
- ・ロールプレイに際しては、ことば・表現「商品の種類(食品)など」(p.62)にある写真・イラストをコピーして切り離し、それを学習者に提示して、ロールプレイを開始してもらう方法もあります。そうすることで、語彙表現の確認・定着練習にもなります。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－売り場を探して、欲しいものを買おう(p.61)

- ・「活動2－売り場を探して、欲しいものを買おう」(p.61)の店内見取り図「すみません、野菜はどこですか」は、様々なスキニング(※特定の情報を得るために、情報のある箇所を探して拾う読み方)に使うことができます。音声または文字で提示された食品の分類や細目が何番の売り場にあるか答えたり、反対に売り場の番号から食品の分類や細目を答えたりすることが可能です。あるいは「活動1」と組み合わせで店員役がスキニングを行い、ロールプレイの会話内容に反映させるというやや高度な活動もできるはずです。
- ・食品の分類が導入済みであれば、工夫次第で細目語彙の紹介(導入)や定着(復習)にも使えるでしょう。

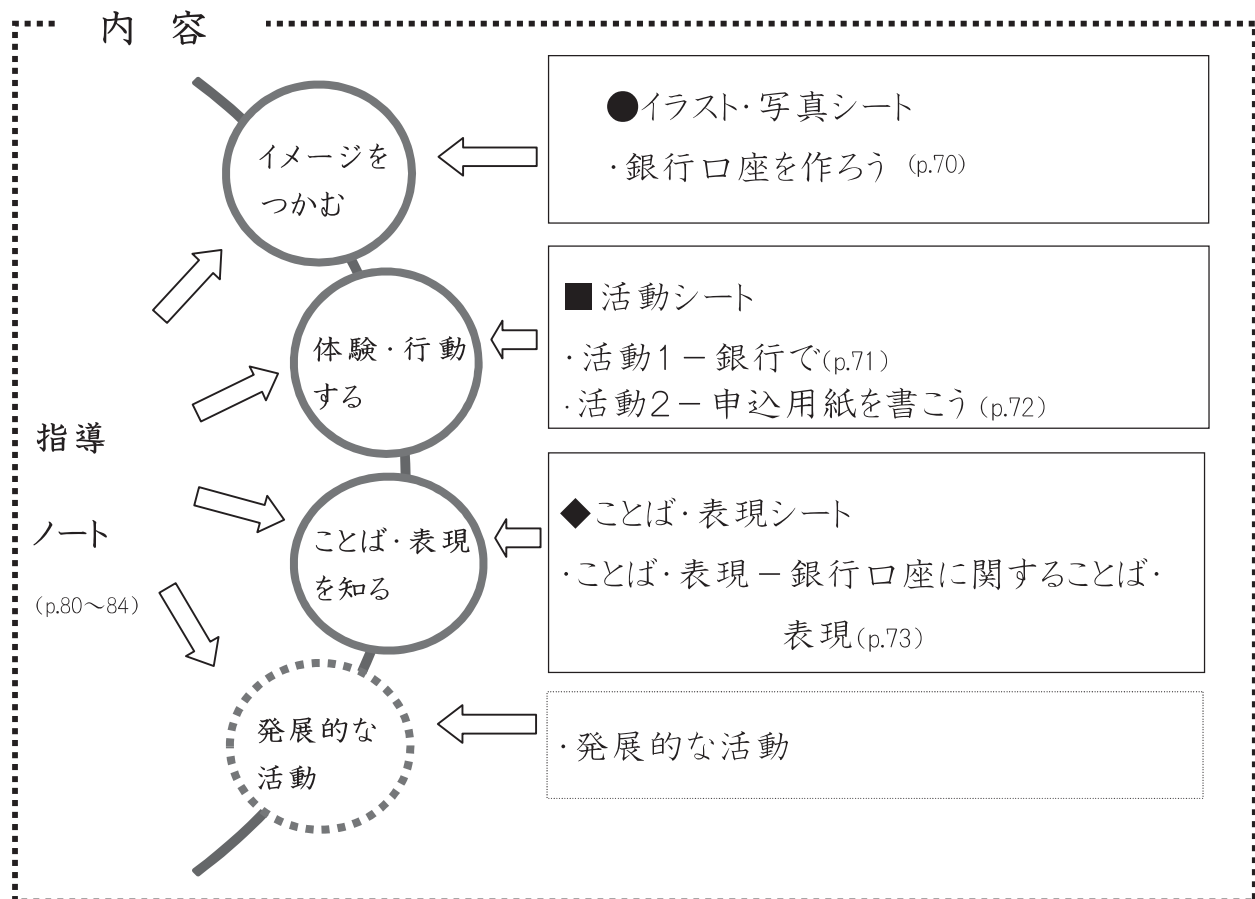
ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－商品の種類(食品)など(p.62)

- ・「ことば・表現－商品の種類(食品)など」(p.62)は、学習者が実際の買物場面などでよく目にする基礎的な単語を並べてあります。「活動1」や「活動2」を行う前に、ことばや表現の読みと意味を確認するとよいでしょう。
- ・ここでは学習者に最も身近と思われる「食品」の分類を中心とした単語を取り扱っていますが、学習者の使える語彙量や関心の度合いによっては、「別表1－食品の細目リスト(例)」(p.63～64)、「別表2－その他の細目リスト(例)」(p.65～66)にある単語などを確認しておくのも一つの方法です。

(09) きんゆう き かん 金融機関を り よう 利用する



取り上げる生活上の行為の事例

(0901050)「申込みをする」

教室活動の目標

・銀行口座を開設する

教室活動のねらい

- ・口座開設の意思を伝えることができる
- ・係員の説明を聞いて理解することができる
- ・口座の申込用紙に必要事項を記入することができる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0901050)「申込みをする」

教室活動の目標

－ 銀行口座を開設する。

教室活動のねらい

- － 口座開設の意思を伝えることができる。(活動1)
- － 係員の説明を聞いて理解することができる。(活動1, 2)
- － 口座の申込用紙に必要事項を記入することができる。(活動2)

・ 銀行口座を開設すると、預金や送金、勤務先からの給料受け取り、家賃や公共料金やクレジットカードなどの支払いなどのサービスを受けることができます。また、キャッシュカードがあれば、ATMで24時間現金を預けたり引き出したりすることができます。「銀行口座がなかったら…」,「ATMが使えなかったら…」,生活がどれほど不便になるか想像してみてください。口座を作ることが学習者の生活を一步便利にします。金融機関によって口座開設の条件や方法が異なりますが、学習者のニーズに合い、実生活のサポートとなるような教室活動を考えてみてください。

活動前に確認しておくこと

- － 学習者の居住地近くや勤務先近くの銀行(または学習者が開設を希望する銀行)の口座開設の条件と手続き、開設に必要なもの
- － 印鑑がなくてもサインで口座が開設できる銀行の情報

準備する素材

- － 学習者の居住地近くや勤務先近くの銀行(または学習者が開設を希望する

- 銀行)の口座開設申込用紙, 其他必要な書類
- 通帳, キャッシュカード, 印鑑書留で届いた郵便物の封筒等の実物
 - 銀行口座開設に関する多言語情報(各自治体が発行しているもの, 銀行がホームページ上で公開しているものなど)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

イラスト・写真シート

・銀行口座を 作ろう(p.70)

- ・「イラスト・写真シート」(P.70)を見ながら, 日本の銀行窓口の営業時間や銀行口座でできることについて話をしましょう。その際, 母国と比較しながら話を進めるといいでしょう。
- ・ここで, 口座を開設するときに必要な物も確認しておくといでしょう。そのとき, 母国と比較しながら進めると話題が広がります。日本の多くの銀行では印鑑が必要になりますが, 日本以外の国ではサインで開設することの方が一般的です。印鑑の文化について話が広がるかもしれません。
- ・口座開設時の主な手続きや持ち物については, 多言語情報を利用して確認してもいいでしょう。
- ・銀行によっては口座開設まで6か月以上日本に滞在していないと口座開設ができない銀行もあります。事前に確認をしておくといでしょう。
- ・学習者が印鑑を持っていない場合, サインで口座開設ができる銀行を探すか, 印鑑を作って口座を開設することになります。学習者が前者を選択した場合, サインで口座開設ができるか銀行に問い合わせることを活動として加えてもいいでしょう。後者を選択した場合, 印鑑を注文することを教室活動として加えることもできます。

< 問いかけ例 >

「ここはどこでしょうか。」

「日本の銀行は何曜日から何曜日まで, 何時から何時まであいていると思いますか。あなたの国ではどうですか。」

「銀行の口座があると, どんなことができますか。」

「(通帳と印鑑の写真を見て)これは何でしょうか。いつ使うものでしょうか。あなたの国にもありますか。」

「(あなたが口座をつくりたい)銀行で口座を作るとき、何を持っていけますか。」

多言語情報例

例1)文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

- ・日本語, 中国語, 韓国・朝鮮語, 英語, スペイン語, ポルトガル語
- ・p.67 お金と銀行
- ・http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kyouiku/handbook/index.html

例2)(財)自治体国際化協会「多言語生活情報」

- ・英語, 中国語, 韓国・朝鮮語, スペイン語, ポルトガル語, タガログ語, ベトナム語, ドイツ語, タイ語, フランス語, インドネシア語, ロシア語
- ・その他の届出 印鑑
- ・<http://www.clair.or.jp/tagengorev/ja/d/05-1.pdf>

体験・行動する

■活動シート

・活動1－銀行で (p.71)

- ・「活動1－銀行で」(p.71)では、銀行の人に口座を作りたいという意思を伝えます。また、印鑑がない場合、サインでもいいかを確認します。
- ・学習者が印鑑を持っていない場合、事前に電話で銀行にサインで口座開設ができるかを確認する活動も考えられます。ただし、初級の学習者の場合は、電話で聞くより窓口で相手の顔を見ながら聞くほうが理解しやすいでしょう。

< 会話例 >

銀行の人: はい, ××銀行××支店でございます。

A さ ん : すみません。サインで口座を作ることができますか。

銀行の人: はい, 大丈夫です。／申し訳ありません。

- ・電話の場合は、すべてが聞き取れなくても「大丈夫」「申し訳ありません」などの肯定か否定かを示すキーワードを聞き取れるようにしておくと、安心して電話ができるでしょう。
- ・日本の銀行の窓口では、順番待ちの紙をもらって待つなど、銀行の習慣についても、母国と比較しながら話ができるといいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－申込用紙を 書こう(p.72)

- ・ 実際の申込用紙を利用して、必要事項を記入してみましょう。申込用紙は、銀行によって異なります。できるだけ、学習者が開設を希望する銀行の申込用紙を準備しておくといいでしょう。
- ・ 銀行の窓口で記入するときに、書く内容や書き方を銀行の人に尋ねる表現も言えるようにしておくといいでしょう。

<例>

「ここに何を書きますか。」

「どう書きますか。」

- ・ キャッシュカード用の暗証番号について、どんな番号が安全か、どんな番号が安全ではないかを、みんなで話してみるのもおもしろいでしょう。
- ・ キャッシュカードは、申込みをした場で通帳と一緒にもらえる銀行もありますが、申込み後1～2週間後に簡易書留で郵送する銀行も多いです。簡易書留には受け取りのサインが必要です。書留の実物を見せて、サインが必要なことが分かるようにしておくといいでしょう。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－銀行口座に関することば・表現(p.73)

- ・ 銀行口座を開設するときに必要なことばです。実物を手にして話すと理解しやすいでしょう。

発展的な活動

- ・ 銀行によって口座開設の条件や手続きが異なります。たとえば、口座開設時に印鑑が必要な銀行もあればサインでもいい銀行もあります。またインターネットで口座開設の申込みができる銀行も増えています(英語の口座開設申込用紙を準

備している銀行もあります)。学習者のニーズに沿ってより個別的，発展的な活動も考えられます。

< 例 >

- ・印鑑を注文する活動
- ・インターネットで口座開設の申込みをする活動
 - …インターネット上で申込用紙に記入し，申込用紙をプリントアウトして銀行に郵送する活動
 - …インターネット上で申込用紙を郵送してもらい，申込用紙に記入をして銀行に郵送する活動
- ・クレジットカード機能付きキャッシュカードを申込む活動
- ・ネットバンキングを同時に申込む活動